

2025年度

青山学院大学大学院
国際マネジメント研究科
履修証明プログラム
サステナビリティ・マネジメント講座

学生募集要項



Aoyama Gakuin University

青山学院スクール・モットー

地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人にとしえ社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、
時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

国際マネジメント研究科のミッション

国際マネジメント研究科は、
キリスト教の教育理念に基づき、
社会的責任 (Social Responsibility) を果たし、
地球市民 (Global Citizen) として活動する
創造的リーダー (Creative Leader) の養成と、
時代をリードする研究活動を通して、
豊かな未来を切り拓くことに貢献する。

1. 講座の目的

企業が取り組むべきサステナビリティとは何か、本質的な議論を基に、昨今の潮流、タクソミー、ガイドライン、規制や規格等を理解しながら、サステナビリティを織り込んだ企業戦略や事業計画の立案の策定が可能なエキスパートおよびオフィサーの養成を目的としています。

2. 開講期間・実施場所

2025 年 9 月 6 日(土) ～ 2026 年 1 月 24 日(土)

青山学院大学青山キャンパス

※原則として上記期間中の土曜日に実施

※9 月 6 日は Pre-MBA 科目のみ実施

※12 月 20 日は予備日、1 月 3 日、10 日、及び 17 日は授業実施予定なし

※対面授業のみとなりオンライン授業の実施はありません

3. 教育課程

プログラム概要及びプログラム詳細に示す授業を受講した上で、授業への貢献度、出席率、最終報告などの修了要件を満たした方に履修証明書が交付されます。

なお、主に MBA を取得されていない方向けに、サステナビリティ、コーポレート・ファイナンスや統計基礎等の Pre-MBA 科目も 12 回分開講します。こちらの講義への出席は、修了要件には含まれませんが、基礎からの学習を希望される方は受講をご検討ください。

開講科目

Pre-MBA 科目 (全 12 回、希望制)

SDGs ビジネスゲーム

コーポレート・ファイナンス基礎

統計分析基礎

サステナビリティと経営戦略

環境政策

階層分析法

ベーシック科目 (全 3 回)

イントロダクション

青山学院とキリスト教

サステナビリティを巡る欧米日の対応の変化

コア科目 (理論およびケースディスカッション) (全 16 回)

サステナブル・ファイナンス

サステナブル・マーケティング戦略

Creating Multistakeholder Value (英語講義)

サステナブル・ストラテジック・マネジメント

サステナブル・オペレーションズ・マネジメント

人的資本経営

アドバンスト科目 (全 23 回)

カーボンプライシング入門

サステナブル社会の実現に必要な温暖化対策

エネルギーレジリエンス

気候変動

自然資本

サステナビリティと人権

サステナブル投資

インパクト投資

サステナビリティ情報開示

IR 活動

アクティビストとの対峙

ESG におけるガバナンスのフレームワークとコーポレートガバナンスに対する考え

役員報酬

欧州サステナビリティ・CSR 政策の最新動向

アジェンダメーカーNGO 解剖

中間発表 (全 2 回)

最終発表 (全 4 回)

合計 : 48 回 (72 時間)

(pre-MBA 科目受講の場合は、60 回、90 時間)

スケジュールおよび科目詳細

Pre-MBA 科目 (希望制)

No.	日付 教室	時限		講師	内容
I	9/6 (土) H1116	1 限	9:00~10:30	福田 徹	SDGs ビジネスゲームとレゴ® シリアスプレイ® メソッドのワークショップ ゲームとレゴ®による創造と対話を通じて受講 生のつながりを深め、今後の講義での実りある学 びと活発なディスカッションにつなげるアイス
II		2 限	10:40~12:10		

					ブレーク
III		3 限	13:30~15:00	伊藤 晴祥	コーポレート・ファイナンス基礎I DCF 法や市場乗数法による企業価値評価方法の基礎
IV		4 限	15:10~16:40		コーポレート・ファイナンス基礎II M&A の事例を利用した企業価値評価方法の実践
V	9/13 (土) 17807	1 限	9:00~10:30	森田 充	統計分析基礎I サステナビリティ関連の実証分析のために
VI		2 限	10:40~12:10		統計分析基礎II サステナビリティ関連の実証分析のために
VII	9/20 (土) H1116	1 限	9:00~10:30	廣瀬 雄大	サステナビリティと経営戦略 国際機関のプログラムや事例を通して現場から学ぶ
VIII		2 限	10:40~12:10	北野 泰樹	環境政策 ミクロ経済学の基礎
IX	9/27 (土) 17807	1 限	9:00~10:30	中塚 昭宏	階層分析法 基礎 「感覚の定量化は、正しいのか？」を検証する
X		2 限	10:40~12:10		階層分析法 実用 階層分析法の使い方を説明する
XI	11/1 (土) 17807	1 限	9:00~10:30	森田 充	サステナビリティ関連の実証分析のための統計分析基礎 III 回帰分析を中心とした因果推論について
XII		2 限	10:40~12:10		サステナビリティ関連の実証分析のための統計分析基礎 IV 総合演習

※ 9 月 13 日の 3 限、4 限のみ実施時間帯が異なります。

※ 9 月 13 日及び 11 月 1 日の教室は変更の可能性があります。その際は、9 月 6 日までにお知らせします。

必須科目

教室 (全日程): H1116 (青山キャンパス 17 号館 11 階)

No.	日付	時限		講師	内容
1	9/13 (土)	3 限	13:00~14:30	伊藤 晴祥	開講式&イントロダクション
2		4 限	14:40~16:10	島田 由紀	青山学院とキリスト教 建学の精神
3	9/20 (土)	3 限	13:00~14:30	伊藤 晴祥	サステナブル・ファイナンスⅠ 関連する規制やガイドライン、サステナブルファイ ナンスの具体的な手法、学術研究のレビュー
4		4 限	14:40~16:10		サステナブル・ファイナンスⅡ ケース 1: サステナビリティに関する情報開示

5	9/27 (土)	3 限	13:00~14:30	伊藤 晴祥	サステナブル・ファイナンスⅢ ケース 2: インパクト投資
6		4 限	14:40~16:10		サステナブル・ファイナンスⅣ ケース 3: サステナビリティを織り込んだ企業価値評価
7	10/4 (土)	1 限	9:00~10:30	細田 高道	サステナブル・オペレーションズ・マネジメントⅠ 持続的視点からのサプライチェーン戦略 (1) サプライチェーン概論と持続的視点から見た課題点の理解
8		2 限	10:40~12:10		サステナブル・オペレーションズ・マネジメントⅡ 持続的視点からのサプライチェーン戦略 (2) サプライチェーン・シミュレーション体験
9		3 限	13:00~14:30	西井 真祐子	サステナブル・マーケティング戦略Ⅰ 消費者行動の視点からサステナブル・マーケティングを理解する
10		4 限	14:40~16:10		サステナブル・マーケティング戦略Ⅱ サステナブル・マーケティング戦略と実践例を深掘りする
11		5 限	16:20~17:50	北川 哲雄	サステナビリティを巡る欧米日の対応の変化 日本がリーダーになる可能性も
12	10/11 (土)	1 限	9:00~10:30	細田 高道	サステナブル・オペレーションズ・マネジメントⅢ つくりすぎと廃棄の原因 理論と実際の乖離を理解
13		2 限	10:40~12:10		サステナブル・オペレーションズ・マネジメントⅣ 持続的社会に向けた様々な取り組み 最近の事例と研究成果の紹介
14		3 限	13:00~14:30	馬野 隆一郎 川崎 武史	サステナビリティ情報開示の規制動向と日本企業の対応Ⅰ サステナビリティ情報開示の動向とステークホルダー
15		4 限	14:40~16:10		サステナビリティ情報開示の規制動向と日本企業の対応Ⅱ 今求められるサステナビリティ情報開示に対する日本企業の対応
16		5 限	16:20~17:50	松山 将之	サステナビリティ情報開示 サステナビリティ情報開示基準の動向と日本企業の開示の現状およびその課題について
17	10/18 (土)	2 限	10:40~12:10	有村 俊秀	カーボンプライシング入門 GX-ETS の義務化へ向けて
18		3 限	13:00~14:30	工藤 拓毅	エネルギーレジリエンス エネルギー・レジリエンス強化の背景と目的、今後の課題

19		4 限	14:40~16:10	松岡 俊文	サステナブル社会の実現に必要な温暖化対策 二酸化炭素の地中貯留技術が実現する脱炭素社会
20	10/25 (土)	2 限	10:40~12:10	岩田 宜子	今日における IR 活動の実質的な展開について ESG、取締役会との関わりなど
21		3 限	13:00~14:30	Philip Sugai	Creating Multistakeholder Value I (英語) Understanding Value and its use in Sustainable Business Practices
22		4 限	14:40~16:10		Creating Multistakeholder Value II (英語) Understanding the Value Model, and its contents
23		5 限	16:20~17:50	森本 麻衣子	サステナビリティと人権 企業活動における人権尊重の世界的潮流を法的観 点 (ハード・ロー、ソフト・ローともに) から概観 し、特に国連「ビジネスと人権に関する指導原則」 で示された考えに沿って個別ケースを議論する
	11/1 (土)	3 限	13:00~14:30	伊藤 晴祥	中間発表へ向けた相談会 ※出席は任意です。
24		4 限	14:40~16:10	前田 翔三	欧州サステナビリティ・CSR 政策の最新動向 欧州開示政策、そして“ブリュッセル効果”と如何に 向き合うか
25	11/8 (土)	1 限	9:00-10:30	宮地 真紀子	アクティビストとの対峙 I サステナビリティと株主提案、アクティビスト・企 業・株主の各視点での考察
26		2 限	10:40~12:10		アクティビストとの対峙 II サステナビリティと株主提案、アクティビスト・企 業・株主の各視点での考察
27		3 限	13:00~14:30	中野 勉	サステナブル・ストラテジック・マネジメントI サステナビリティと企業戦略ーリニアからサーキ ュラーへのマネジメントの展開
28		4 限	14:40~16:10		サステナブル・ストラテジック・マネジメントII SDGs とサーキュラー・エコノミーからのモデルと 実践のフレームワーク
29	11/15 (土)	3 限	13:00~14:30	北川 哲雄	中間発表
30		4 限	14:40~16:10	伊藤 晴祥	
31	11/22 (土)	1 限	9:00-10:30	岩本 隆	人的資本経営 I 企業のサステナビリティ(持続的な企業価値創造) を実現するための人的資本経営について学ぶ
32		2 限	10:40~12:10		人的資本経営 II 企業のサステナビリティ(持続的な企業価値創造) を実現するための人的資本経営について学ぶ
33		3 限	13:00~14:30	阿部 直彦	役員報酬I 日本企業の役員報酬改革の現状、業績連動性の有無

34		4 限	14:40~16:10	野地 もも	役員報酬II サステナビリティを踏まえた役員報酬制度、その効果と課題
35	11/29 (土)	2 限	10:40~12:10	栗野 美佳子	アジェンダメーカーNGO 解剖 サステナビリティトレンドの水先を読む
36		3 限	13:00~14:30	夫馬 賢治	気候変動 TCFD、SBTi、PCAF、カーボンクレジット、トランジションプラン
37		4 限	14:40~16:10		自然資本 TNFD、SBTs for Nature、PBAF、生物多様性クレジット
38		5 限	16:20~17:50	土岐 大介	EU におけるサステナブル投資 EU のサステナブル投資最新動向と論点
39	12/6 (土)	3 限	13:00~14:30	井川 智洋	アクティブ運用者によるサステナブル投資 I
40		4 限	14:40~16:10		アクティブ運用者によるサステナブル投資 II
41		5 限	16:20~17:50	林 寿和	インパクト投資・インパクト志向・インパクト加重 会計：海外動向を中心に
42	12/13 (土)	2 限	10:40~12:10	松原 稔	投資家の ESG 活動
43		3 限	13:00~14:30	高山 与志子 宮地 真紀子	ESG におけるガバナンスのフレームワークとコーポレートガバナンスに対する考え方 I
44		4 限	14:40~16:10		ESG におけるガバナンスのフレームワークとコーポレートガバナンスに対する考え方 II
45	1/24(土)	2 限	10:40~12:10	北川 哲雄 伊藤 晴祥	最終発表
46		3 限	13:00~14:30		
47		4 限	14:40~16:10		
48		5 限	16:20~17:50		
			18:00~18:30		履修証明書授与式

4. 授業実施方法

- ・全ての授業は対面で行います。オンラインでの配信は行いません。
- ・2 回分の講義 (10 月 25 日 (土) 3・4 限) は、英語で実施します。
- ・上記以外の講義は日本語で行いますが、一部では英語の教材が含まれます。
- ・殆どの授業ではディスカッションを行いますので、出席だけではなく、積極的な発言 (授業参加) が求められます。
- ・一部の授業では、ディスカッションにディスカッションパートナーが参加します。ディスカッションパートナーはディスカッションを円滑にするためのファシリテーターの

役割を担います。また、ファイナンスなど専門知識が必要な授業でのディスカッションでは、ファイナンスの初学者に対するサポートの役割も担います。

5. 修了要件

以下の要件を全て満たすことにより履修証明書が交付されます。

- ・ 中間発表、最終発表および Pre-MBA 科目を除く全 42 回の講義のうち、34 回以上の講義に出席すること。但し、30 分以上の遅刻/早退は 3 回で 1 回の欠席として換算します。
- ・ 中間発表を行うこと。但し、中間発表に出席できない場合は、中間発表の資料を事前に提出することにより中間発表を行ったものとして扱います。
- ・ 最終発表を行い合格すること。但し、最終発表に出席できない場合には、事前に提出した最終発表資料に基づき、最終発表の可否を判定します。

6. 履修証明書

本講座は、文部科学省所管の学校教育法に定められた「履修証明プログラム」として実施します。修了要件を満たした方には、青山学院大学学長名で履修証明書が交付されます。履修証明書は、履歴書ならびにジョブ・カードに学歴として記載することができます。

7. 出願期間

2025 年 6 月 14 日 (土) 10:00 ～ 2025 年 7 月 14 日 (月) 23 : 59

※締切日を過ぎたものは受理できませんのでご注意ください。

8. 出願資格

出願の時点で企業等組織に勤務し、下記のいずれかに該当する者。

- ①大学を卒業した者。
- ②大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者。
- ③外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者。
- ④外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者。
- ⑤日本において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者。
- ⑥外国の大学等において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者。
- ⑦文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以降に修了した者。
- ⑧本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者。

※上記⑧により出願を希望する者は、必ず「9. 出願資格審査」に従って審査を受けて

ください。

9. 出願資格審査

8. 出願資格⑧により出願しようとする者は、出願書類を提出する前に出願資格認定のための審査を受ける必要があります。

(1) 提出書類

①勤務先調査票 (<http://www.aoyamabs.jp/sustainability> の「出願書類」からダウンロードしたエクセルファイルを入力し、アップロードしてください。)

②最終学歴の成績証明書 (PDF ファイルをアップロードしてください。)

③最終学歴の卒業証明書 (PDF ファイルをアップロードしてください。)

④出願資格審査申請書 (様式は任意)

実務経験・学習歴・研究歴等を入力し、記載内容を証明する書類や資料をアップロードしてください。特にサステナビリティ経営に関する実務経験を有する場合はそのことを明記してください。

※①～③については、出願書類と重複しておりますが、出願の際は「12. 出願書類提出方法」において指定している方法により再提出をお願いします。

※「13. 審査方法」の注意事項に準じますのでご確認ください。

(2) 出願資格審査申請期間

締切日：2025 年 6 月 24 日 (火)

回答日：2025 年 7 月 2 日 (水)

(3) 書類提出先

WEB による提出

URL: <https://business.form-mailer.jp/fms/d4800b0d294083>

※審査結果はメールでの連絡のみで、電話での回答、書面の発行はいたしません。

10. 出願書類

①勤務先調査票 (<http://www.aoyamabs.jp/sustainability> の「出願書類」からダウンロードしたエクセルファイルを入力し、アップロードしてください。)

②顔写真 (出願フォームの注意事項を確認し提出してください。)

③最終学歴の卒業証明書、または修了証明書 (出願時は PDF ファイルをアップロードし、合格時に原本を提出してください。)

④最終学歴の成績証明書 (出願時は PDF ファイルをアップロードし、合格時に原本を提出してください。)

⑤在留カードのコピー (外国籍の方のみ、表面と裏面の両方のコピーを 1 つの PDF ファイルにして、アップロードしてください。)

⑥課題レポート (2 つの課題を合わせて A4 サイズ 4 ページ以内で、1 つの PDF ファイル

に統合して提出してください。)

1. サステナビリティ・マネジメント講座の志望理由 (2,000 文字以内)
2. サステナビリティ・マネジメント講座とあなたのキャリアプランはどのように関連していますか? サステナビリティに関して、今まで行ってきたことや考えてきたこと、および今後講座で学んだことをどのように将来のキャリア形成に活かすか述べてください。 (2,000 文字以内)

※レポートは必ず志願者本人が考えて作成すること。人工知能の自動生成や、他者による作成が判明した場合は合格を取り消します。

⑦任意提出資料 (1 つの PDF ファイルに統合して提出してください。)

- ・語学能力に関する証明書のコピー
- ・推薦書
- ・自己PR書
- ・職務経歴書
- ・その他

11. 審査料

無料

12. 出願書類提出方法

WEB による出願です。下記の URL にアクセスし、必要事項を記入し、上記のファイルをアップロードしてください。

URL: <https://business.form-mailer.jp/fms/afc78be3294084>

13. 審査方法

書類審査

※提出された書類等の返却はいたしません。

※記載内容に虚偽や著しい誇張があった場合は、合格を取り消します。

※出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、電話番号、生年月日等の個人情報、
①出願受付、②書類審査実施、③合否発表、④入学手続とこれに付随する業務を行う
ためにのみ利用します。

14. 合否発表

2025 年 7 月 23 日(水)に E メールにて通知 (予定)。

合格者には「合格時の案内」を送付しますので、案内に沿って定められた期間内に入学手続を完了してください。

15. 定員および最少催行人数

定員: 24 名

最少催行人数: 11 名

合格者数が最少催行人数未満となり、開講されない場合は、合否発表時にお伝えします。

16. 入学手続き方法

受講料の納入 (クレジットカード決済または銀行振込)

Pre-MBA 科目を受講される場合

65 万円 (一般の方)

55 万円 (本学学部卒業者、本学大学院修了者)

Pre-MBA 科目を受講されない場合

57 万円 (一般の方)

47 万円 (本学学部卒業者、本学大学院修了者)

※消費税は課税されません。

※Pre-MBA 科目のみの受講はできません。

証明書の原本の提出 (郵送)

- ・最終学歴の卒業証明書、または修了証明書
- ・最終学歴の成績証明書

合格者は 2025 年 8 月 8 日(金)までに受講料の納入をお願いします。

受講料の支払い方法および証明書 (原本) の提出方法は、合格発表通知の際にお知らせします。

17. 留意事項

- ①本プログラム出願者、受講者および修了者の個人情報、出願者、受講者および修了者管理のため、本プログラム事務局に提供いたしますのでご了承ください。
- ②本プログラムと他大学・大学院、本学学部・大学院および他プログラム (科目等履修生など) と併願したり、併せて在学したりすることはできません。
- ③審査内容、合否に関する問い合わせには一切応じません。

問い合わせ先

青山学院大学社会連携部

agu-socialcoop@aoyamagakuin.jp